

13 壁装



「壁紙」が発信!技術を磨き、安全・安心、快適な世の中を…

「壁装施工作業」とは表具技法により500年来の障壁画作業を基礎として発展。近代、一般社会の要望により進められた和洋建築の合体という新しい展開から成る技術の開拓をもたらしました。伝統の技を生かしつつ新しい材質に対応する知識と新しい技術の習熟が常に要求される職種です。

競技概要 競技時間 4時間30分(1日)

「壁装作業」課題は、A・B・C面に分かれており、織物、ビニール、紙、第三次元新素材等の壁紙の特性に合わせた施工、仕上げ面ジョイントの重要性なども含めた高度な技術が要求された結果、最も効果的な仕上がりになるよう工夫されています。

Point

競技にあたっては、下地から上張りまで、施工図に従って寸分の狂いも無く張り合わせます。特に張り下地、仕上げにおいては、出来栄を大きく左右するので細心の注意が要求されます。

ジョイントローラー
壁紙の継目を
目立たなくするために
圧着する道具



第30回 競技課題

地ペラ
壁紙をまっすぐ切るための
ガイドとなる道具

なでバケ
壁紙を貼るときに
空気を抜く道具

